

読みたい!知りたい!伝えたい!

～叙述を基に考える児童の育成～

目指す児童の姿を、今年度の研究主題にしました。

本校では、児童の学力向上とともに、教師の指導力向上を目指し、昨年度から国語科の授業研究に取り組んでいます。具体的には、課題を解決するために目的意識をもって文章を読もうとしたり、文章の内容について考え話し合ったりする児童の育成に向けて、研究を重ねています。

先日、6年1組の研究授業がありました。1時間(45分間)の授業のために、何度も検討を重ねてきました。授業の様子を簡単にお知らせします。

第6学年 国語科

「ストップ地球温暖化 未来へつなぐエネルギー社会のあり方」



これからのエネルギー社会における問題点や在り方を考えていく中で、雪がエネルギーとして活用されていることを説明文から知り、「雪エネルギーのよさや課題、重要性」を他学年に伝えたいという思いをもちました。そこで、子供たちは、説明文全体を文章の重要な骨組みだけを残して要旨にまとめる活動に取り組み始めました。

5年生までに身に付けた力を総動員して、どのような内容の要旨にまとめ上げるのか、とても楽しみです。



一般的なことは筆者の伝えたいことではないと思う。「冷熱エネルギー」のことは、主題だからここは外せない。最後のまとめのところは、筆者が主張したいところだから入れるとして…ということは、問いも入れたほうがいいのか。問いとまとめはセットだからなあ。